

平成 14 年

全国一級河川の水質現況

平成 15 年 7 月

国土交通省河川局編

目 次

はじめに

第一章 河川の水質現況	1
1．河川の流量	1
2．河川の水質（湖沼等を含む）	3
(1) 水質調査地点	3
(2) 生活環境の保全に関する環境基準の項目からみた水質の現況	3
1) 評価項目	3
2) 環境基準の満足状況	4
環境基準の類型指定状況	4
調査地点の環境基準の満足状況	4
類型別の環境基準の満足状況	7
地方別の環境基準の満足状況	9
水系別の環境基準の満足状況	11
3) 調査地点の水質状況	12
4) 主要地点の水質状況	18
5) 河川別の水質ランキング	26
(3) 人の健康の保護に関する環境基準の項目からみた水質の現況	28
(4) 要監視項目からみた水質の現況	30
(5) 農薬項目からみた水質の現況	32
(6) 水道関連項目（トリハロメタン生成能）からみた水質の現況	34
(7) 「人と川のふれあい」から見た水質の現況	36
1) 糞便性大腸菌群数	36
2) 透視度	38
3．水生生物調査	40
(1) 調査の概要	40
(2) 調査結果	40
4．水質事故の発生状況	47
第二章 河川の水環境改善のための事業及び施策	50
1．水質浄化対策等	50
(1) 河川浄化対策	50
(2) ダム貯水池水質保全対策	50
(3) 流水保全水路の整備	51
2．流況改善対策等	51
3．清流ルネッサンス 2 1・清流ルネッサンス	50
(1) 清流ルネッサンス 2 1の取り組み	51
(2) 清流ルネッサンス の取り組み	51
4．水道原水の水質保全	52
5．水質監視等	52
6．水質汚濁防止連絡協議会等	53

7. 水環境を巡る最近の動き	53
(1) 流域水環境研究会	53
(2) 内分泌攪乱化学物質に関する取り組み	54
(3) ダイオキシン類問題への対応	56
参考資料	59
参考資料1 環境基準を満足している地点の割合(水系別)	61
参考資料2 一級河川の主要地点の水質	66
参考資料3 各種基準値(指針値)一覧	70
参考資料4 「水生生物による簡易水質調査結果」参加団体一覧	77
参考資料5 全国河川ランキング	80

はじめに

国土交通省は、国土保全上または国民経済上特に重要な水系を一級水系として指定し、その主要区間について直轄管理によりその総合的管理に努めている。

近年、河川行政においては、河川の治水・利水機能の確保とともに、河川の水量・水質の確保、生態系の保全、景観の保全、河川空間におけるアメニティの確保等が重要な課題となっており、河川環境の総合的な整備と保全を図るために、積極的な施策を推進することが求められている。

このような中で、河川・湖沼・ダム・貯水池の水質を調査・監視し、その状況を踏まえて水質改善のための施策を進めていくことがますます重要になってきている。

本報告は、平成14年1月から12月までの1年間にわたり、国土交通省が一級河川の直轄管理区間において、定期的実施した水質調査結果をとりまとめ、全国一級河川の水質現況の概要を明らかにするとともに、河川の水環境改善に関する国土交通省の取り組みをまとめたものである。

近年の河川水質は、毎年の降水量の変化による影響はあるものの、排水規制、下水道の整備等の発生源対策、河川内における浄化事業等の推進により徐々に改善傾向を示し、都市部の河川においても、BOD75%値で10mg/ℓを下回る地点が多くなってきている。しかし、閉鎖性水域の湖沼等については、近年横這いの傾向が続き、改善の兆しも現れていない。

このような一級河川の水質の現状に対して、河川管理者としては、流域内で実施される水質改善のための諸施策と一体となって様々な施策を講じることにより、良好な水環境への改善に努めているところである。今後ともうるおいとやすらぎ、そしてゆとりの感じられる「豊かで美しい水環境」をめざすとともに、安全でおいしい水が確保されるよう努めて参りたい。